

平成23年度 鹿児島県中学校総合体育大会

テニス競技大会要項

- 1 大会名 鹿児島県中学校総合体育大会 第9回テニス競技大会 (兼 九州大会予選)
- 2 期 日 平成23年7月25日(月)～26日(火) 予備日：7月27日(水)
- 3 日 程 平成23年7月25日(月) 9：00 開会式 (※団体戦受付 8：50終了)  
 9：30 競技開始 男女団体戦 決勝・3決まで  
 団体戦終了後 団体戦表彰式 (各会場)  
 13：00 男女個人戦 (単) 受付終了  
 男女個人戦 (単) 1・2R
- 26日(火) 9：00 個人戦競技開始 (受付 8：50終了)  
 男女個人戦 (単) 3R～決勝・3決まで  
 男女個人戦 (複) 1R～決勝・3決まで  
 全競技終了後 閉会式 (個人戦表彰実施)

◆雨天でも受付終了時間までに必ず集合すること  
 ◆渋滞・自然災害・公共交通機関の遅れ等での遅刻は団体・個人ともに認めない  
 (上記日程はあくまでも目安であり、申込状況・進行状況・天候等により変更もありうる)

- 4 会 場 男子：知覧テニスの森公園 (砂入り人工芝 17面)  
 女子：県立鴨池庭球場 (砂入り人工芝 14面)
- 5 競技規則 2011年度(財)日本テニス協会ルールによる。
- 6 競技方法 (1) **団体戦**(Aパート:九州大会予選 Bパート:オープン(7人未満のチームの対抗戦))  
Aパート・Bパート両方には出場できない。

**Aパート (チーム構成：7人以上10人以下)**

- ① 九州大会予選。チーム対抗戦とし、3シングルス・2ダブルス計5ポイントを、トーナメント方式で行う。3位決定戦を行う (補欠校を決めておく)。  
 ② 試合順は、ダブルス2 → ダブルス1 → シングルス3 → シングルス2 → シングルス1 とする。  
 ③ 試合は原則として、1セットマッチ (6-6 タイブレイク)、デュースありで行う。

**Bパート (チーム構成：4人以上6人以下)**

- ① 7人揃わないチームのオープンゲームを行う。九州大会予選ではない。  
 ② 試合は原則として、6ゲーム先取、ノーアドバンテージ方式で行う。  
 ③ チーム対抗戦とし、双方の人数に合わせて下記のような試合方法をとる。

	4人対4人	4人対5人	4人対6人	5人対5人	5人対6人	6人対6人
D2	なし	なし	×-○	○	×-○	○
D1	○	○	○	○	○	○
S3	なし	×-○	なし	なし	○-×	なし
S2	○	○	○	なし	○	○
S1	○	○	○	○	○	○

- 対戦する (試合を行う分)  
 ×-○ 対戦はしない (試合前に勝敗が決している分)  
 なし 対戦なし (カウントしない)  
**勝敗** 「なし」を除いてカウントし、勝敗を決める (引分は登録人数の多い方の勝ち)  
 → 6人対6人の2-2は得失ゲーム差で決する  
**原則** 単：3つ (全ての) 試合は行わない  
 複：必ず1つは対戦する

## A・Bパート共通

- ① 同一中学校の生徒でチームを編成し、各学校からA・Bパートどちらかに男女各1チームずつ出場できる。
- ② 同一対抗戦中に同一選手がシングルスとダブルスの両方に出場することはできない。
- ③ 対抗戦中のシングルスおよびダブルスは、実力順でなくてもよい。
- ④ 試合は、進行状況・天候等によって各種短縮システムで行うこともありうる。
- ⑤ 1コート1名まで監督・登録選手・登録外部コーチ（登録はチーム1名）のベンチ入りを認める。外部コーチ登録申請は各学校へ問い合わせてください。
- ⑥ 両チームとも初戦、あるいはどちらか一方が初戦の場合は全対戦を実施し、それ以外は勝敗が決定したら打ち切り制とする。

## (2) 個人戦

- ① 単・複ともトーナメント方式で行う。学年別・年齢別ではない。
- ② 試合は、原則として1セットマッチ（6-6 タイブレイク）、デュースありで行う。なお、参加人数・進行状況・天候等によっては各種短縮システムで行うこともありうる。
- ③ 申込数は以下の通りとする。

各学校男女シングルス	中学3年生	人数制限なし
	中学1・2年生	シングルス合計8名
各学校男女ダブルス	学年に関係なく合計8ペアとする	

シングルスとダブルスは兼ねられないものとする。ダブルスのペアは、同一中学校の生徒どうしで組むものとする。
- ④ 個人戦はベンチには誰も入ることはできない。
- ⑤ 申込書には実力順に記入すること。また、平成23年度の樋口杯・県中学生大会の個人戦獲得ポイントがある選手は申込用紙の所定の欄に必ず記入すること（記入がない場合は「ポイントなし」として扱うので注意）。

- (3) 試合方法や日程等については、申込数によっても変更がありえるのでドロー会議にて決定し、仮ドローの発送をもって連絡する。

## 7 試合球

ダンロップフォート

※個人戦出場者は、シングルスは1名につき2個入り未開封缶を1缶、ダブルスはペアで2個入り未開封缶を1缶準備し、大会当日持参すること。試合に負けた方が使用したボールを受け取り、勝った方は未使用のボールを受け取るシステムとする。

※団体戦用の試合球は本部で準備する。

団体戦のボールは、初回戦および準決勝・決勝戦はニューボール、他はセットボールを使用する。

## 8 組合せ

- (1) 組合せは、7月1日(金)のドロー会議にて抽選し、決定する。  
ドロー会議の場所：鴨池公民館（午後1時より大会役員で実施する）
- (2) シード作成の原則は下記の通りとする。
  - ・シード作成の基準となるポイント取得大会は、平成23年度実施の樋口杯テニストーナメントおよび鹿児島県中学生テニス大会とする。
  - ・ポイントは鹿児島県テニス協会ジュニア委員会作成の平成23年度版大会要項冊子内の「ポイント数一覧」による。団体戦・・・鹿児島県中学生テニス大会の団体戦の結果を参考にする  
個人戦・・・シングルス・ダブルスそれぞれ上記2大会のポイント数の合計による

## 9 監督会

7月25日(月) 8時40分 大会各会場 本部席  
各会場責任者 知 覧：岩崎正幸（ラ・サール中）  
県立鴨池：能勢信一（池田中）

## 10 申込方法

- (1) 期 限 6月27日(月) 必着 ※Fax不可  
◆公平を期すため、締切に遅れた場合の参加は認めない  
※仮ドロー発送用封筒(A4用紙が折らずに入る長3封筒に宛先・学校長名を表書きし、140円切手を貼ったもの)を必ず同封すること。  
仮ドロー発送用封筒がない場合は仮ドローの発送はしない

(2) 申込先 〒890-0033 鹿児島市西別府町1680 池田中学校  
能勢信一 宛 Tel 099-282-7888

(3) 参加料 ・1人500円(団体戦・個人戦に登録した選手全員)  
・納入方法 7月25日(月)または26日(火)に男女それぞれ大会本部  
に、各学校でまとめて現金で納入する。

(4) 引率責任者は、当該校の校長もしくは教員とする。申込書に必ず引率責任者名と職名を明記すること。

## 11 表彰

団体・個人ともに3位まで表彰する。

団体 Aパート 1位：優勝旗と賞状 同2～3位：賞状

Bパート 1位～3位：賞状

個人 単複各1～3位：賞状

※前年度団体優勝校(男子：皇徳寺中学校 女子：鹿児島純心女子中学校)は優勝旗返却  
(大会初日開会式：三脚・ケースあり)

## 12 その他

(1) 本大会の団体男女各上位2校、個人単男女各上位4名、個人複男女各上位4ペアは、九州中学校体育大会への出場資格を得る。

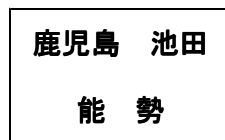
※平成23年8月10日～12日：長崎県長崎市

(2) 服装は、ゼッケンを背中につけたえり付きポロシャツ((4)参照)と膝上までの短パン(女子はスカート、ワンピースも可)とテニスシューズとする。Tシャツは不可とする。色は自由。熱中症予防のため、できるだけ帽子をかぶること。ラケットのガットマークは禁止する。

(3) 県立鴨池・・・団体戦では校名を記したボードを、個人戦では個人名(名字のみで可)と学校名を記したボードを準備し、対戦時に得点板に掲示すること。なお、ジュニアの大会で使用している様式(たて19.5cm よこ36cm)でかまわない(すでに作って使用中のものがあればそれで可)。

知覧・・・ネームプレート不要。

(4) 試合中は下記の通りシャツの背面にゼッケン(白地)を必ずつけること。



※遠くからでもわかるように黒色の大きい文字で。

※横26cm、縦18cmの大きさとする。

※同姓の選手がいる場合は姓の後に名前の最初の1字を入れる。

※安全上、安全ピンでとめるのではなく、縫いつけるかホックで留めること。

(5) 県立鴨池周辺の道路に車両を駐車する場合は、駐車可能な場所・可能な時間帯をよく確認したうえで駐車すること。駐車違反に対しては大会本部は責任は負わない。知覧会場は駐車場あり。

(6) 大会当日、県立鴨池までバスで来る予定の学校は、申込書の所定の欄に必要事項を記入すること。記入のあった学校については会場内の駐車場を確保する。記入がない場合は会場内駐車場へのバスの乗り入れ・駐車はできない。

バスを会場内に駐車する場合は、原則として当日朝8:30までに駐車を完了すること。また、大会開催時間中のバスの出入りは原則としてできない。

(7) 審判は「セルフジャッジ」とする。

(8) 問い合わせは、申込先をお願いします。

(9) 大会運営上、生徒引率及び監督の学校職員に審判及び大会運営をお願いすることがあります。